

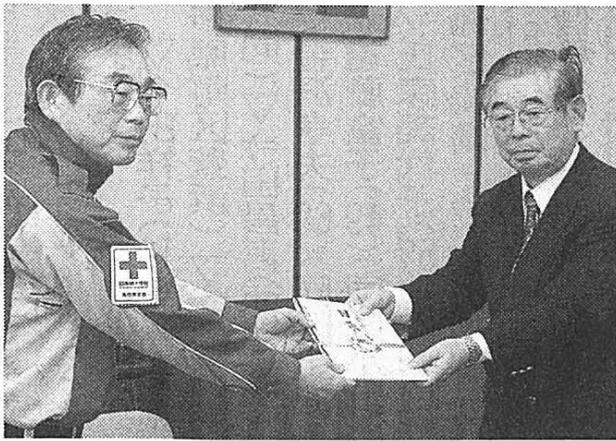
「少しでも力に」県内から善意次々

上下水道復旧へ 備品無償で提供

松江の小松電機産業

集落排水制御監視システム設計製造を手がける「小松電機産業」(松江府小松市)は15日、東日本大地震で被災した自治体の上下水道管理システムの早期復旧のために備品や技術を無償提供することを決めた。同社はインターネットの

回線で上下水道を管理するシステムを全国の自治体に納入。このうち、被災地の福島県南相馬市や茨城県常陸太田市など4県5市町村の上下水道施設で現在、通信が途絶えているという。



木次健悦・日本赤十字社県支部事務局長(左)に義援金の目録を手渡す小松昭夫社長(松江市の小松電機産業で)

提供するものは、被災した上下水道を復旧する際に欠かせない備品など。計画停電で汚水処理などに不具合が生じないようにあらかじめ下水道を制御しておく管理システムなどの開発にも着手した。同社は「被災地復興に向け、少しでも力になりたい」としている。

さらに、同社と社員は同日、被災地への義援金計520万2826円を、日本赤十字社県支部に手渡した。(佐藤祐理)